



## 4月の主な行事

1日 :	エイプリル・フール	14日 :	オレンジデー
7日 :	世界保健デー	18日 :	発明の日
8日 :	花祭り	20日 :	逓信記念日
10日 :	駅弁の日、女性の日	22日 :	アースデー
12日 :	パンの記念日	29日 :	昭和の日



## 今月のかわら版 : 1 「サクラのミニ知識」

「サクラ」は、古くから日本人に親しまれてきた花のひとつです。春のイメージや、「花見」など鑑賞をするイメージがありますが、その語源や、鑑賞以外の「サクラ」についてご紹介します。



### <サクラの語源>

「サクラ」という名前の由来は、一説に「咲く」に複数の意味する「ら」を加えたものとされていて、元来は花の密生する植物全体を指していたと言われています。また、春になると里にやってくる稲（サ）の神が憑依する座（クラ）だから「サクラ」になったという説もあります。他には、桜の霊である「木之花咲耶姫（このはなさくやひめ）」が、富士山の頂から最初の桜の花の種をまいて花を咲かせたので、姫の名前から「さくや」とって「桜」になった、という説も伝わっています。「古事記」にも出てくるこのお姫様の名前は「この花（桜）のように美しい姫」という意味があるそうです。

### <サクラは国花のひとつ>

桜の花は、法的に定められてはいませんが、国花のひとつとされています。そのため、明治時代以降の軍隊や学校の制帽や階級章には桜を象った紋章が用いられています。また、現在でも警察や自衛隊などの紋章に使用されています。

### <鑑賞以外のサクラ>

桜は鑑賞するだけではなく、果実を食用とするほか、花の塩漬(け)は桜湯に、葉の塩漬(け)は桜餅にと、食品としても古くから利用されて親しまれています。また、春の季語としても使われる桜は、さまざまな事柄の表現にも用いられます。サクラエビやサクラマスなど、体の色が赤いものの名前にも使われ、淡い紅色を「桜色（さくらいろ）」といいます。電報などで受験の結果を知らせる際、「サクラサク」は合格、「サクラチル」は不合格の意味に使われます。また、うばざくら（姥桜、乳母桜）は、開花時に葉がないことから「歯が無い」を暗喩した桜の通称です。そして桜には見頃があることから、年配でありながら艶めかしい女性を指す古語でもあります。

## 今月のかわら版 : 2 「盗難車“見える化”～車体番号を車外から確認～」

近年、自動車盗難被害は増加の一途をたどり、ホームページ上での警察庁の犯罪件数データ等の公表や、新聞・雑誌・TVでの報道も行われ、自動車オーナー自身の自己防衛に対する意識は若干向上していますが、まだまだセキュリティー対策を強化していかなければいけません。盗難防止のポイントと共に、万が一盗難にあった場合の新たな対策が登場しましたので、ご紹介します。

### <盗難車“見える化”>

このたび、車体番号を車外から一目で確認できるように“見える化”する仕組みを某自動車メーカーが開発し、一部の車種に導入されました。盗難車かどうか調べやすくなり、窃盗犯の摘発につながることを期待されます。

### <車体番号が車外から確認可能>

仕組みは、フロントガラス下部に固定した約10センチの金属製プレートに十数桁の車体番号を刻み、車外から確認できるようにしました。

従来は不審車両を見つけた場合、盗難届が出ているかをナンバープレートや車体に刻まれた車両番号で照会していましたが、偽造ナンバーに付け替えられると見破るのが困難であり、また車体番号の確認は、ボンネットを開けるなど時間もかかっていました。しかし、この仕組みにより、車外から車体番号を確認することが可能となり、盗難車かどうか、判断しやすくなりました。さらに万が一盗んだ後に数字を細工しようとしても「フロントガラスを破らないと不可能」となっています。

### <自動車盗難防止のポイント>

自動車盗難犯罪に遭わないためには、お一人おひとりが自己防衛を意識し、盗まれないよう心がけることが重要です。

- 車を離れるときは、全ての窓・ドアを完全に閉め、ロックする。
- スペアキーをバンパーの裏等発見されやすい場所に保管しない。
- 盗難防止効果の高い、イモビライザー（電子式移動ロック装置）を装着する。
- バー式ハンドロック、GPS追跡装置など、盗難防止機器を有効活用する。
- 貴重品を車内に放置しない。
- 駐車場は防犯設備の備わったところを選ぶ。